

教育について感ずるところども

茂木女塾長 茂木由子

この頃児童教育といふ事が、家庭に於ても社會に於ても、非常に熱心に唱へられるやうになりました。子供の育て方といふと、昔から口にされてゐる事でありますが、最も重要な問題でありながら、それだけ研究がむづかしくつて、考慮を要する餘地は多いのであります。殊に時代が一變して來まして、生活が複雑に進んで行きますから、昔のやうな一口に言ふ所謂子供の育て方では、貧弱なのでございます。

私には、麻布中學に通學してゐます十六歳と十三歳の男兒と、只今すぐお隣の仲之町小學校に通學して居ます九歳の男兒と、三人の男兒が居りますが、これ等も男兒であります上に、私の主人が既に亡くなつて居りますものですから、教育には一入力を入れて居る積りでございます。近頃は、官立府立の評判のよい學校に、何處の御家庭でも入學させたいと、無理をしてまで大騒ぎをなさるやうでございま

すが、只今のやうに教育的設備組織が整然となつた時代に、官立だから、府立だから、と言つて、さほど私立の學校に優さつて、立派な設備がしてあり、又人格高い教師がお出でになる、と言ふわけでもありませんから、子供の健康と頭腦とを考へて、麻布中學の方へ通學させる事に致しました。殊に小さい子供、小學校、幼稚園位の子供たちを、何處の幼稚園は上流の子供達が來て評判がよいからとて、遠い幼稚園にもかゝはらず通學させると、毎朝通學に何時間と言ふ長い時間を費して、子供等につまらない無駄な時間と努力とを徒費させるわけになります。それで私は、子供三人とも代々すぐお隣の仲之町小學校の附屬幼稚園にお願ひいたしました。この小さい子供を教育する上に、下らない虚榮から評判のよい幼稚園小學校を選んだ爲に起る種々の無駄は、ほんとによく母親方に考へて頂きたいと思ひます。毎朝早くから眠がる子供を起して、通學の途中が長い

から電車を幾つも乗換へるからとて、女中をつけさせて、大騒ぎして通はせてゐる御家庭を見ると、其の愚さにつく／＼あきれてしまひます。

只今九つになる末の子供が仲之町小學校幼稚園を卒業する折の事でございます。一體この赤阪區と云ふのは妙な所でございます。青山の山の手の方と、こちらの下町の方とは、同區内でありながら、政黨の争闘から絶えず不和がありまして、どうもうまく行かず、従つて教育等に於ても、小學校と小學校との争ひが暗にあるのでございます。政黨の勢力の上から、神聖なるべき子供等の教育する機關に、かくも汚れた空氣のしみわたつてゐることをほんとに残念と思つて居ります。この赤阪區には全體で六個の小學校がありますが、その中でピアノを有してゐる學校は唯一つしかありません。お隣の仲之町小學校にもピアノがないのですから、子供達の爲に音樂會を開き、或は運動會を開くとしても、ピアノを他の學校から借りて來るのも大した面倒なものですから、つひ／＼かうした催しがつぶれ勝ちでございます。そして今申しました政黨の争闘から、他の學校でピアノを買はうとしてゐると云

ふやうな事でも耳にすると、暗に手をまはして邪魔をしやうと云ふのです。互に手を取り合つて進むべき教育界が、このやうに他人の策略にかゝつて自由にさせられて居るのです。其處で私共は仲之町小學校にも、どうにかしてピアノを一臺買ひたいものだと思ひまして、之には學校側が主となつてピアノの事をやり始めますと、今申したやうな餘りよい効果がありませんから、私共父兄の方からそつと運動して、お金を募集して見やうと志しました。さうして私が私の子供の友達の御家庭を訪問して意志を述べますと、この邊は皆女學校以上を卒業した知識階級の奥様達なので、すぐ賛成してしまひまして、八百圓餘のお金が出来ましたので、私の同意生で音樂家でいらつしやる鈴木信子さんを顧問として、よいピアノを見立て、頂いて買ひました。只今仲之町小學校にありますのがこのピアノでございます。初め私は、子供が幼稚園を卒業した御恩がへしに、男の兒ですから五月人形でも買つて、學校にさし上げやうかと思つてゐましたが、自分ひとりで致しますよりも、大勢して心を合はせてしました方が、どれだけ大きい有益な事が出来るものか、をつく／＼感じま

した。

この春日本幼稚園協會の方々が奮起されて、あのめざましい「子供デー」の宣傳をなさいました時、仲之町小學校に於ても講演會が開かれまして、わざわざ日本幼稚園協會長として湯原元一氏が此處にも御訪問下さいましたので、この「子供デー」の講演會をよい記念に、私共の「母の會」が發會式を舉げたのでございまして。この「母の會」が生れたのが四月二十三日の事で、それから四ヶ月餘も經つてしまひました。この間に私共は此夏の初めに第一回「母の會」講演會を、下田次郎氏や其他の方々に御願ひしていたしました。これからは忙がずあわてずしつかりと「母の會」を進めてまゐる積りでございまして。この「母の會」も、兒童の教育を研究したい目的で組織されましたのです。女學校、女子大學を卒業されました、初めは高い理想を持つてゐられる方でも、お子様がお小さいのが五人もお出でになる上に御主人の御世話にお忙しいとされると、もう修養どころかとても何事も出来なくなつてしまふといふ風でございまして。それ故どうにかして、母親達が集つて互に研究し、子供の日一日と進歩してゆく頭に負けぬやうにしや

うといふのが、この會の目的なのでございまして。仲之町小學校にピアノを寄附致した折の皆様との團結が、大層役に立ちまして、「子供デー」のある前の晩までは、いつ「母の會」の發會式を舉げやうかといふやうな事は、具體的案も何もなかつたのでございましてが、「子供を大事にする」といふ爲に集る母親達の會だから、同じ「子供を大事にする」といふ目的から催される「子供デー」に、發會式を舉げた方がよいと思ひたち、夜遅くまで電話を都合の奥さんにか、速達をとばすやら、使を走らせるやら、私共の周章さ加減は、もし御存知の方があつたら、噴き出してお笑ひになりますでせう。とにかくもこのやうにして生れたのが「母の會」でございまして。「母の會」の方々は實に熱心な方許りで、誰が先に立つてするの誰がどうかからいやだの、と婦人の會にあり勝ちなつまらない不和が少しもなく、皆一つ力となつて活動して居ります。

秋になりましたら、九月頃から「母の會」主催で、女中さん慰藉會といふやうなものを始め度いと思つて居ります。これも子供を大事にするといふ意から生れましたので、女中も家族の一員として子供たちと

一緒に住んで居りますから、子供が女中に接することから色々な感化を受ける事が多いのでございます。女中を相當に教育してやるといふのは、子供に悪い影響を與へない爲めと、もう一つは女中と云へども人間の一員であるから充分修養する機會、精神を慰安する機會を與へてやらなければならぬのであります。この二つの重大な理由から、この慰安會を開く事に致しました。場所は仲之町小學校を拜借しまして、女中さんのことですから晝間はだめですから夜分に集ることとし、お茶お菓子を食べながらゆつくり其の晩は休んでゆくといふ風に致します。さうして小學校の先生方や「母の會」の會員が、一寸お話をしたりして、精神向上の資にあてる積りで居ります。この試みがどれ位の成功があるかわかりませんが、初めて様子を見ましてから、會の度數やプログラムを定める積りで居ります。しかし相當に効果のあることゝ信じて居ります。

私は子供達に對して放任主義を取りたいと云ふのが、常から希望でございます。私の庭には鶏が澤山飼つてありますが、これも子供が飼ひたいと云ひますものですから、子供の志にまかせて飼ふ事に致し

ました。さうして鶏の世話の子供にまかせて居りますので、子供は鶏を世話することから色々な有益な事を發見します。又中の子は大層ベースボールが好きで、ベースの道具をいろいろ買ふのです、これも私がかまはずに、子供の好むまゝにベースも自由に歩かせてさせて居ります。かうしてたい遠くの方から、間違ひのないやうに見守つて居ります。末の子がよく學校から歸つて來て、「今日キリストの繪を見て來たよ」などと云ふ時は、「さうかね、此れはミレ一の繪で、佛蘭西の百姓がお祈りしてゐる所ですよ」と、今度はこちらから繪を見せてやりますと、母親が自分と同じ繪に興味をもつてゐる事や、又母親の見せてくれた繪が實に立派なものだ、といふ考へが頭にはいつて、母親が自分に對する同情と、母親の學識のあるのを、どんなに子供はよろこぶでございませうか。子供より一步も二歩も進んだ母親であるといふことは、實に大事なことでございませう。